

授業科目	子どものうたあそび (A クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11333J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP5-2			
担当教員	末成 妙子							
授業概要	<p>「うたあそび」は幼児の成長に重要な意味をもっていることを理解し、園生活における豊かな人間関係を構築する保育者の姿を目指してほしい。保育者が「うたあそび」を積極的に取り入れ、こどもたちにうたいかけ、一緒にふれあい遊びを繰り返すことでこどもたちの心の中に安心感を与えることができる。また、友だちと一緒にリズムに合わせて軽快に動く遊びの中から「協調性」が生まれ「感性」が豊かに育つ。季節を感じるうたや園生活にかかわるうたなど、こどもの心に響く、こどもの発達段階にふさわしい、さらに音楽としても楽しく、なじみやすく、美しい楽曲を学ぶ。「うたあそび」を楽しむ中で、喜びや心地よさを共感・共有できる関係を大切に育てることができる。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 「保育」という場と「持続性」ということを考慮して、毎日の保育の中でこどもたちが安心して聴くことができ、一緒に歌いたくなるようなこどもにとっての魅力的な歌声を身につける。</p> <p>2 こどもの発達段階と表現の特徴を把握し、数多くのうた・うたあそびを学び、自分のものとして曲にふさわしい曲想で、表情豊かに歌う。</p> <p>3 歌い継がれていくうちに少しずつ変化し、あいまいになっているうたあそびのフレーズや歌詞を正しく把握し、こどもが自ら遊びたくなる、歌いたくなる環境をつくる手立てを学ぶ。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	50	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			30	50		20	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1 曲想にふさわしい歌声で表情豊かにうたあそびができる。</p> <p>2 発達段階、季節、行事など園生活にふさわしいうたあそびの曲を、多様なレパートリーの中から選曲し、こどもとともに楽しむことができる。</p> <p>3 歌詞を明瞭に発音し、こどもに歌いやすい音域で動作をつけて歌ったり、こどもとふれあい遊びをしたりすることができる。</p>				<p>1 苦手意識を持たず自分の声を存分に使ってうたあそびができる。</p> <p>2 発達段階にふさわしい曲を選び、こどもとともに楽しむことができる。</p> <p>3 曲の山場の音程を正しく把握し、自然な動作をつけて、こどもとふれあい遊びをすることができる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション「歌うことの原点」 春の歌「おはながわらった」「たけのこ」「おべんとうばこのうた」他	実技演習	既習曲の復習	30
2	テーマ: はじまりとおわりのうたあそび 「あなたのおなまえは」「あくしゅでこんにちは」「おかたづけ」他	実技演習	既習曲の復習	30
3	テーマ: 行事や生活のうたあそび 「シャベルでホイ」「へびとかえる」「いもほりのうた」「あめ」他	実技演習	既習曲の復習	30
4	テーマ: 発表 伴奏を伴う既習曲の発表。それに基づく歌唱・身体表現の工夫を検討する。	実技演習	検討した内容をまとめる。	30
5	テーマ: 春と夏のうた 「おほしさま」「みずあそび」「手遊びピクニック」「運動会」「ありさんのおはなし」他	実技演習	既習曲の復習	30
6	テーマ: 夏のうた・動物のうた 「おばけなんてないさ」「ありさんのおはなし」「かもめのすいへいさん」「やおやのおみせ」他	実技演習(GW)	既習曲の復習	30
7	テーマ: 夏のうた 「もうすぐなつやすみ」「身体あそび『おどるん曜日』」他	実技演習	既習曲の復習	30
8	テーマ: 発表 伴奏を伴う既習曲の発表。それに基づく歌唱・身体表現の工夫を検討する。	実技演習	検討した内容をまとめる。	30
9	テーマ: 秋のうた 「つき」「ゆうやけこやけ」「やきいもグーチャーパー」他	実技演習	既習曲の復習	30
10	テーマ: 手や指の動きを楽しむうたあそび 「のねずみ」「こぶたぬきつねこ」「いっぽんばし」「パンダウサギコアラ」他	実技演習	既習曲の復習	30
11	テーマ: 発表 伴奏を伴う既習曲の発表。それに基づく歌唱・身体表現の工夫を検討する	実技演習	既習曲の復習	30
12	テーマ: あかちゃんとのわらべうた・ふれあいうた「あがりめさがりめ」「うたあそび『北風小僧の寒太郎』」「こどもとこどもがけんかして」「おてらのおしょうさん」他	実技演習	検討した内容をまとめる。	30
13	テーマ: 体の動きを楽しむうたあそび 「まめまき」「ちいさなにわ」「おにのパンツ」「だいこんつけ」「おちたおちた」他	実技演習	既習曲の復習	30
14	テーマ: そつえんのうた、まとめ 「ゆきのこぼうず」「ちゅうちゅうねずみ」「みんなともだち」「ありがとうそしてさようなら」他	実技演習	既習曲の復習	30
15	テーマ: 発表 互いに伴奏を受け持ちあいながら発表をする。	実技演習	検討した内容をまとめる。	30
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	ピアノや歌に抱く苦手意識から一歩踏み出す努力をしてください。保育におけるうたあそびの大切さを認識し、こどもたちの育ちを支えてください。「声」は言葉と旋律を同時に伝えられる人間だけに与えられた楽器です。保育者自身が楽しんで練習し、こどもたちの前で全身を使って生き生きと表現し、音楽の楽しさを感じることでできるこどもを育ててほしいです。			
テキスト	末成妙子・著「幼児の音楽表現」(白峰社)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	新・幼児の音楽教育			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日常生活においてもこどもたちのうたに関心を持ち、好きなうた、楽しい身体表現をたくさん身につけてください。保育者自身が楽しいと思える活動がこどもの心にもっとも響く活動になります。1対1のうたあそびから集団のうたあそびに広がり、心と体が解放されると園生活がより豊かなものになり、こどもの健やかな育ちを支えます。			
達成度評価に関するコメント	感染症の状況により通常の歌う活動が十分できないかもしれませんが、歌を用いた保育活動について学んでいきましょう。 発表活動 50% レポート 30% その他の授業への貢献度 20%を評価の基準にします。			